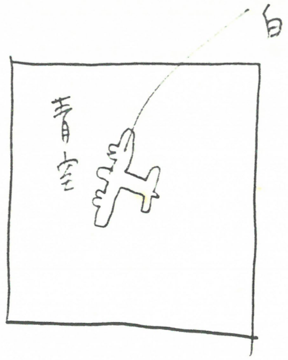
スライド・シナリオ

スライド

。青空の広がる夏景色

・戦時中の生活風景の写真、数枚



ナレーション

（男）その朝、

（女）一九四五年八月六日………その日の朝。

（男）雲一つない晴れ渡った真夏の青空の下（もと）――

（女）街はいつものように一日の始まりを迎えていた。

（男）行ってきます。

（女）行ってらっしゃい。

（男）建物疎開や、兵器工場に向う子供たち

（女）職場に向う労働者、

（男）どこからか、竹創訓練の音も聞こえてくる。

（女）やがて、せみしぐれの中で、人々はかすかな爆音を聞いた。

（男）「警報は解除になっているのに？」

（女）いぶかしむ何人かの声

（男）次才に大きくなった爆音が頭上に、

（女）ふりあおいだ上空には、青空が広がる。

（男）その青空に、強烈な朝の陽を浴びて、銀翼がまばゆいばかりに輝くB29が一機、

（女）「……きれい……」

（男）誰かがつぶやいた。

音響

せみの声（小さく）――爆発までずっとつづける。

自転車のベルの音、

号令、と、かけ足の音

せみしぐれ大きく
↓次才に小さく

爆音
次才に大きく

爆音とせみしぐれ、大きく

音ピタッと、とめる。

強烈な光と爆発音

スライド

○キノコ雲

○被爆者絵
数枚

○被爆後の写真
七〜八枚

○石段の影

○火災の絵

○

○はだしのゲン他

ナレーション

(男)と(女)交互に たたみかけるように

「痛いよー」「痛いよー」

「熱いよー」「お母さーん」「お父さーん」

「ウーム」「水……みず……」「助けて……」

(男) 崩れた建物、砕々になったビル
あたりに転がる黒こげの死体―

(女) 首のない胴体、飛び出した目玉、露出した内臓
手足をもぎとられまだ血を噴き出している体―

(男) 六〇〇〇度を超える熱線と、秒速三〇〇メートルを超える爆風で、あとかたもなく消えてしまった人々

(女) 石段の上にくっきりと残された影だけが、そこに人の居たことを示している。

(男) やがて、そこかしこから起った火災は またたく間に全市をおおい、

(女) 傷を負って逃げまどう者、
ガレキの下からはいだそうと必死でもがく者、
動かぬ親にすがりつく子供、

(男) 炎は風を呼び、風によって炎は更に猛り狂う。

(女) 炎の中を人々は歩いた。
血を流し、焼けただれ、手や顔からはズルリとむけた皮をぶらさげて
人々は歩いた。

(男) 幽鬼の行列―
子は親を求め、親は子を求めて―

音響

風の音と火事の音

スライド	げんしばくだんが（小学校三年）
	統計数字
	地図と被爆範囲

ナレーション

（女）「げんしばくだん　がおちると
ひるがよるになって
人は　おばけになる」

（男）この日　死んだ者　　人
やがて死に至る重傷を負った者　　人
負傷者　　人
全壊家屋　　戸
大破した家　　戸

（女）人口　　万、　　戸の都市広島は
一瞬にして、この地上から消滅した。

（男）そして八月九日
（女）二つ目の原爆が落とされた。

音響

閃光と爆発音

スライド

○キノコ雲
○教会の写真　2枚
○被爆写真　数枚

統計

ナレーション

（男）十字架をひき裂き
（女）聖母マリアの顔を焼きこがし
（男）二度あってはならないことが
（女）この世の地獄が
（男）ふたたび　つくり出された

（女）死者　　人
負傷者　　人
こわれた家　　戸

（男）人口　　万の都市長崎もまた……消滅した。

（女）二つの都市を消滅させた原爆は、そのあとに
人のヒバクシャを残した。

スライド

○原爆病院での療養シーン数枚

○バラック住いの老人

自衛隊の写真

一％枠撤廃についての新聞見出し

右翼宣伝カー

「千葉の国旗掲揚直立不動の小学校」

「君が代」通達の新聞見出し

ナレーション

(男)ヒバクシャの苦しみは その日から はじまった。

(女、男 交互に)

だるい、 苦しい

嘔気がする、 毛が抜ける

下痢がとまらない

血を吐く

(女)地獄の苦しみの中で、一人 又一人と 生命を奪われ

(男)その年の暮までに 人が 死んだ。

(女)やがて、 町が復興してゆくと、

(男)ヒバクシャ であるが故の差別

働けない、

結婚できない、

「病気がうつる」

人目を避ける傷跡、ケロイド、

(女)辛くとも 悲しくとも、励ましあい 支えあうべき

家庭は

(男)あの ピカドンで 死んだ。

(女)今もなお、 三七万人以上の人々が、 この苦しみの中

で生きている。

(男)苦しみは、 いやされることなく 続いている。

(女)一九八五年、 今、 このとき、

(男)毎年 億円の予算をつぎこんで、増強を

つづける軍隊 — 自衛隊、

(女)それでも足りずに 更に増強しようとする政府

—— 一％枠は風前の灯……

(男)大手をふって歩き出した右翼

(女)「日の丸」「君が代」の強制

(男)強化される集会・デモの規制

音響

④

スライド

横田、
沖縄、岩国、核配備 暴露
ニュース
不沈空母発言
三海峡封鎖 〃

基地配置地図

。「核の冬 25億人餓死」
の新聞記事

ナレーション

(女) 核ミサイル トマホークの配備
(男) 公然の秘密となった核のもち込み。
(女) いつの間にか 日本はアメリカの不沈空母として。
(男) 一旦 事あれば、三海峡を封鎖し、
自動的に 米軍と 共同作戦行動をとることが
とりきめられている。
(女) 日本にある 核攻撃の対象となる基地
核貯蔵基地 ヶ所
通信基地 ヶ所
核ミサイル基地 ヶ所
核装備艦船停泊基地 ヶ所
合計 ヶ所

(男) ヒバクシャの苦しみが 今もつづいているというのに、
(女) ヒバクシャへの償いもせずに
(男) 新たに 全国民をヒバクシャにする 愚かな企みが 着々と進められている。
(女) この次、核のひきがねがひかれる時、その日、
(男) 全ての終り
(女) 地球の終末
(男) 忘れてはならない、ヒロシマ・ナガサキの憐れを
(女) 忘れてはならない、ヒバクシャの悲しみと苦しみ、そして怒りを
(男) 忘れることは 繰り返すこと
(女) 〔忘れることは〕地球の破滅に手をかすこと ―
(男) 全ての核がなくなる その日まで、
(男)(女) ヒロシマ・ナガサキを忘れてはならない。

音響